

愛媛県

Ehime



【愛媛でよく使われる主な方言】

ジュルイ〈ぬかるんでいる〉	オラブ〈叫ぶ〉	イヤタイ〈嫌な〉
カワユ〈かわいい〉	～なもしく〜ねえ	マメ〈元気な〉
ダンダン〈ありがとう〉	イナゲ〈奇妙だ〉	ナンチャ〈何も〉
ホジャケン〈だから〉	カク〈運ぶ〉	シャグ〈轢く〉
ハセダ〈仲間はずれ〉	マガル〈触る〉	コボ〈子供〉
ガイ〈ひどいさま〉	～ワイ(～よ)	ネブル〈舐める〉
イーエノコトヨ〈どういたしまして〉	オセ〈大人〉	オツチラ〈ゆっくり〉



愛媛県9町



- | | |
|-------|---|
| 上島町 | HP: http://www.town.kamijima.ehime.jp/ |
| 久万高原町 | HP: http://www.kumakogen.jp/ |
| 松前町 | HP: http://www.town.masaki.ehime.jp/ |
| 砥部町 | HP: http://www.town.tobe.ehime.jp/ |
| 内子町 | HP: http://www.town.uchiko.ehime.jp/ |
| 伊方町 | HP: http://www.town.ikata.ehime.jp/ |
| 松野町 | HP: http://www.town.matsuno.ehime.jp/ |
| 鬼北町 | HP: http://www.town.kihoku.ehime.jp/ |
| 愛南町 | HP: http://www.town.ainan.ehime.jp/ |

かみ じま ちよう

上島町

橋でつながる人と人 海と緑と太陽と・笑顔で つながる上島町



平成23年2月に開通した生名橋。次の岩城橋建設へ向け、住民の期待が高まっています。

瀬戸内海のと真ん中、温かな人情と爽やかな風に包まれる上島町は、エメラルドグリーンに輝く海原に大小あわせ25の島々が点在している。
平成21年には、「日本で最も美しい村」連合に加盟し、国土交通省の「しまの宝百景」や環境省の「快水浴場百選」にも選ばれるなど、上島町は自然あふれる宝島。
平成23年2月には、町民待望の生名橋が開通し、町内3島が陸続きとなった。人と人がつながることによって、交流も生まれ、新たな町づくりが始まるうとしていいる。



瀬戸内海のと真ん中を実感できる積善山。眼下には3千本桜と瀬戸内の大パノラマが広がり、春には桜祭りが盛大に開催されます。



多くのヨットマンに愛されるゆげ海の駅。

【問い合わせ先】
上島町建設課
TEL0897-77-2500



県の名勝 法王ヶ原 は、弓削神社境内に広がる松林。環境省の「快水浴場百選」に選ばれた松原海水浴場からの心地よい風が吹き抜け、夏には多くの海水浴客とキャンプ客で賑う。

白砂青松の絶景！ 法王ヶ原と松原海水浴場



今年5月にオープンした宿泊施設フェスバ(FESPA)。全室オーシャンビュー。

【問い合わせ先】
フェスバ TEL0897-77-2200



潮流の速い燈籠で育った魚島の鯛。身が締まり、関西の市場で「魚島の鯛」と称賞されている。

【問い合わせ先】
上島町産業振興課
TEL0897-75-2500



2009年 食肉産業展 銘柄豚コンテスト最優秀賞受賞。柔らかくジューシーで甘みのあるお肉。

【問い合わせ先】
上島町産業振興課 TEL0897-75-2500
いわぎ物産センター TEL0897-75-3288



ベルリン世界陸上やり投げ銅メダル 上島町出身村上幸史選手の記念碑。

【問い合わせ先】
上島町教育委員会
TEL0897-77-2128



大地の恵みと島風香る ふるさと自慢の一品 レモンの香りに心が躍る

青いレモンを始め、様々な柑橘類が実り、レモンを使った加工品やお酒は大人気。また、独自の飼育方法で育てられたレモンポークや、豊富な魚介類は絶品。



愛媛で生まれたレモンのお酒できました。



DATA

総人口 7,521人
世帯数 3,847世帯
面積 30.41km²
人口密度 247.3人/km²



くまこうげんちよう 久万高原町

豊かな自然と観光のまち
ひと・里・森がふれあい
ともに輝く元気なまち



四国カルスト



珍しい装飾をあしらった 大師堂。設計は、愛媛県出身の 河口庄一氏

国指定重要文化財

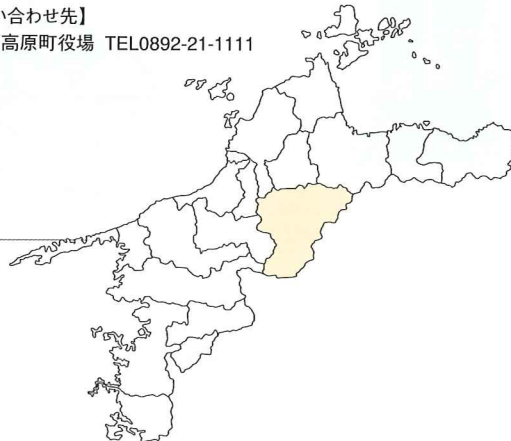
「岩屋寺大師堂」

洋風の装飾をちりばめた
珍しい建築様式の寺院

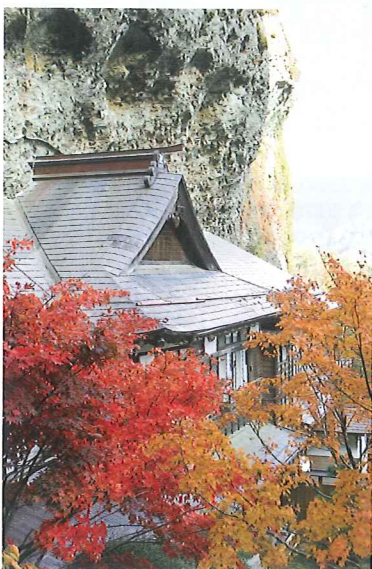
久万高原町には、四国霊場八十八ヶ所のうち、四十四番「大宝寺」と四十五番「岩屋寺」の二つの札所がある。中でも、「岩屋寺」は、屈指の難所と言われているが、「日本の自然百選」に選ばれたトチの木の本生林や、夏の新緑・秋の紅葉など美しい景観が、参拝に訪れる方を癒している。

またその「大師堂」は、伝統的な寺院建築を基調としながらも、洋風を意識したデザインを随所に取り入れた近代和風建築の代表的な寺院として平成十九年六月に「国指定重要文化財」に指定された。

【問い合わせ先】
久万高原町役場 TEL0892-21-1111



久万高原町は、愛媛県のほぼ中央部に位置し、標高1000mを超える四国山地に囲まれた山間地域である。町の総面積の9割を森林が占め、良質な地元産材を利用した「木にこだわりのまちづくり」の推進や、四季折々の美しい自然と渓谷美を中心とした観光振興、冷涼な気候と清流の恵みを受けて育てた高原野菜の生産に力を入れて取り組んでいる。



紅葉に彩られた岩屋寺



化学調味料は一切使用しない
無添加で安全なジュース。

完熟トマトジュース

「赤の元気」

「エコえひめ農産物」の
トマトを贅沢に搾りました

久万高原町は、四国でも有数のトマトの産地。

町内のトマト農家が、自宅に加工施設を整備して設立した「農業法人(株)FFT(フオレストリーファーム露口)」の第一号商品「赤の元気」は、「久万高原産桃太郎トマト」のみを使用したトマトジュースである。

その味は、「トマト本来の旨味」「さっぱりして、何も加えていないので、子どもにも安心」と、好評。滑らかな舌触りで、「トマトは苦手だったけど、これなら美味しく飲めた」という声も。

久万高原町の新しいお土産として、注目を集め始めている。

【問い合わせ先】「赤の元気」
農業法人(株)FFT TEL090-2781-5186

イメージキャラクターゆりぼう
様々なイベントで大活躍している。



DATA

総人口 10,065人
世帯数 4,926世帯
面積 584km²
人口密度 17.2人/km²



ま さき ちよう

松前町

都市と自然が調和する町 水きらめき、笑顔あふれるライフタウン



重信川の伏流水で形成された「ひよこたん池」公園。
松前町は、このような親水空間を誰もが安全に利用できる憩いの空間として整備している。

上ノ有明公園の川岸には家ごとに、かつての洗い場（くみじ）が残り、当時の生活様式を物語る。

下ノ大型ショッピングセンター「エミフルMASAKI」は松前町の中の新しい「MASAKI」づくりを目指す、地域の交流の場。



愛媛県で1番小さいまち、松前町。小さいながらも大きな魅力あふれる町だ。
東は田園地帯が広がり、米、麦、レタス、ネギなど農産物の栽培が盛んだ。西は伊予灘に面し、南は伊予市をへたて四国山脈が望める。北は石鎚山系を源とする重信川が流れ、その恩恵を受け、町内各所には湧水が見られる。
これらの水は、古くから生活用水、農業用水、工業用水として人々の暮らしを支え、松前の歴史を育んできた。この湧水を利用した大間地区を流れる国近川沿いの「有明公園」、神崎・鶴吉地区



の「福德泉公園」、中川原地区の「ひよこたん池公園」などの親水公園は、憩い、交流、学習の場として、今も人々の生活に潤いをもたらしている。
松山に隣接していることから若い世代の働く場所が確保されている。小さいながらも崇高な先人の歴史や独自の文化を発信し続けている。中四国最大級の大型ショッピングセンターを有し、お出かけスポットとしても居住空間としても、県内の人気を集める。
松前町は、都市と自然が調和する、笑顔あふれるライフタウンだ。

まさき村

地元の物産が勢ぞろい

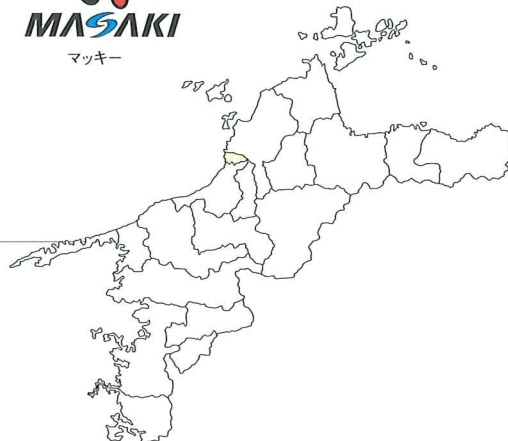
農業・漁業共に盛んな町の物産が一堂に会する産直市「まさき村」。大型ショッピングセンターの一角にある。地元の新鮮でおいしい農作物、海産物や加工食品のほか、姉妹都市である北海道松前（まつまえ）町の花産物や、県内のどぶろくなどを販売。

【問い合わせ先】
(株)まさき村 TEL089-985-5088



小魚珍味 全国シェアのトップを占める 海産珍味工業

松前町は、伊予灘で揚がる小魚を生かした「珍味」の発祥地で、生産量日本一。酒のさかな、子どものおやつ、総菜にもってこいの珍味は、カルシウムが多いのもうれしい。まさき村ではこれら多くのものが手に入る。



DATA

総人口 31,344人
世帯数 12,869世帯
面積 20.32km²
人口密度 1,542人/km²



とべちよう 砥部町



とべっち

陶工の里 「国の伝統工芸品」砥部焼

白磁の肌に溶け込んだ藍色の絵模様や、素地の絵模様、やや厚手の飾り気のない形と材質の堅さが特徴の砥部焼。手造り、手描きの味わいと実用的なデザインが、暮らしの器として広く愛されている。

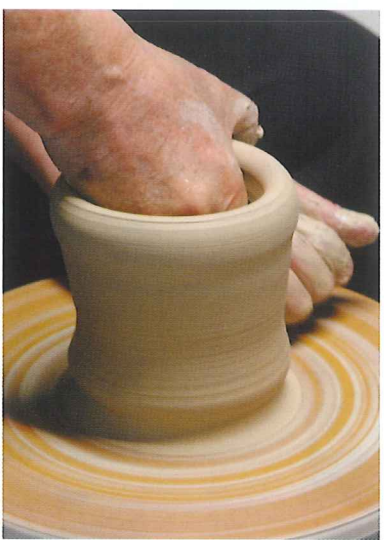


陶板の道

約230年の歴史を持つ「砥部焼」は、四国一の生産を誇る磁器の焼き物で、約100件の窯元が軒を連ねている。優れた伝統工芸品としての歴史と伝統は今も守られ続けられていて、女性や若い世代の陶工の活躍も目覚ましく、砥部焼の魅力がさらに広がっている。



磁器でありながら、素朴でぬくもりのある砥部焼。丈夫で実用性もあり、暮らしの器としてコーディネートがしやすいのも魅力。



熟練の技を持つ陶工の手にかかると、土がみるみる形を変える。



砥部焼の里の拠点・砥部焼伝統産業会館

歴史的作品や個性あふれる現代的な砥部焼など展示されている。また、周辺は砥部焼のオブジェが56基点在している。伝統産業会館にある地図を片手に散策してみてください。

平成24年3月11日オープン



「念ずれば花ひらく」の詩人
坂村真民記念館
被災者に祈りの言の葉と生きる勇気を

「強くあれ 優しくあれ 清らかであれ」と言った真民さん。森羅万象への強い愛と、人としての生き方を、優しく時に厳しくうたった詩は、多くの人に愛されている。
坂村真民記念館はそんな真民さんにふさわしい、素朴で清澄な空気に満ちた場所。ゆつくりと詩の世界に浸り、真民さんの人柄に触れてください。



【問い合わせ先】
砥部町総務課 総務管理係
TEL089-962-6110



DATA

総人口	22,439人
世帯数	9,094世帯
面積	101.57km ²
人口密度	221人/km ²



うちこちょう

内子町

内子座

文化活動の中心 情緒豊かな芝居小屋



創建は大正5年。木造2階建て瓦葺き入母屋造り。



毎年8月に開かれている「内子座文楽公演」。人間国宝による至高の芸を味わう。



内子座の内観。年間4万人以上の人々が見学に訪れる。

【問い合わせ先】
内子座 TEL0893-44-2840

木蠟などの生産で栄えた時代、町民有志によって建てられた芝居小屋「内子座」。歌舞伎や芝居などの公演が開かれ、多くの町民でにぎわったが、やがて老朽化のため取り壊しの危機に直面。しかし町民の熱意によって復元され、昭和60年、再び現役の芝居小屋としてよみがえった。

現在は、文楽などのイベントのほか、講演会や芸能発表会、地元劇団による演劇公演などに利用。平成28年に迎える創建100周年に向け、さらなる文化発信の舞台となっている。文化をこよなく愛する町民と共に歩み続ける、内子町のシンボルだ。

愛媛県・内子町

四国カルスト県立自然公園内にある小田深山。豊かな自然が残り、貴重な生き物が数多く生息している。その中を流れる小田深山溪谷は、初夏はまぶしい新緑と澄んだ空気に溢れ、秋には赤や黄色に色づいた木々で色鮮やかに染まる癒しの空間。約1.5kmにわたって遊歩道が整備され、のんびり散策しながら自然と親しむことができる。

自然の恵みと四季折々の美しい風景を味わいに足を運んでほしい。

【問い合わせ先】
内子町 小田支所 TEL0892-52-3111



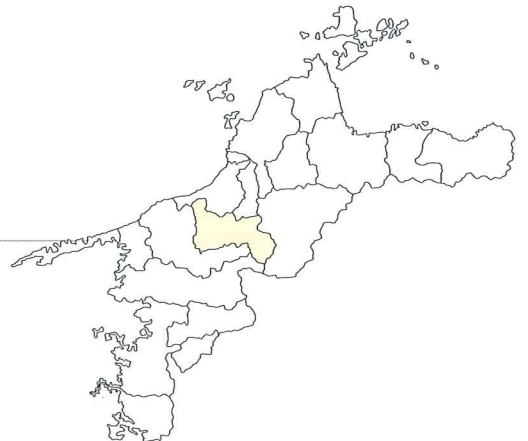
秋の小田深山溪谷。自然豊かな小田深山では、ここにしか生息していない固有種も多数発見されている。

小田深山溪谷
美しい自然の中で過ごす
癒しのひととき



DATA

総人口 18,703人
世帯数 7,343世帯
面積 229.50km²
人口密度 62.45人/km²



伊方町

日本一細長い半島の町 よるこびの風薫るまち伊方

伊方町は、リアス式海岸独特の変化に富んだ美しい自然と、温暖な気候が育む実り豊かな四国最西端の佐田岬半島に位置している。瀬戸内海と宇和海に挟まれたこの地は、傾斜地を活かした柑橘類の栽培や、好漁場がもたらす新鮮な魚

介類など多くの自然の幸にあふれている。また、九州を眺望できる佐田岬灯台や、健康交流施設の亀ヶ池温泉、農業体験や宿泊ができる瀬戸アグリトピアなどの魅力的な施設や名所が数多くある。



佐田岬灯台／日本一細長い佐田岬半島の先端に位置する四国最西端の灯台。晴れた日には九州を遠望することができます。

亀ヶ池温泉 地下1,500メートルから湧き出る天然温泉

平成19年8月にオープンした亀ヶ池温泉は、露天風呂や岩盤浴、塩サウナ、家族風呂など多様な浴室があり、年間約20万人が訪れる人気施設。



【問い合わせ先】
亀ヶ池温泉 TEL0894-39-1160

泉質は弱アルカリ性で、「肌に優しい。」と評判です。お食事処や物産販売所も併設しており、ゆったりと過ごすことができます。



せと風の丘パーク／町内には風車が全部で58基設置されており、「せと風の丘パーク」には11基の風車が立ち並んでいる。



じゃこカツ／道の駅「きらら館」で販売される魚のすり身と野菜を合わせて揚げたもの。テレビ番組で紹介され、大人気に。

佐田岬海鮮活しやぶ 地元の旬な魚をおいしく 味わう新名物誕生！

魚介の宝庫である佐多岬半島のアジ・サバなどを活かしたご当地グルメとして、高級感のある海鮮活しやぶを開発。地元産と鮮度にこだわり、季節ごとに旬の魚を提供している。



味の要となるダシを工夫し、魚のうまみを引き出します。また、タレはみがらし味噌やポン酢など、複数の味が楽しめます。

【問い合わせ先】
伊方町 産業振興課 商工振興室 TEL0894-38-0211

DATA

総人口	11,387人
世帯数	5,037世帯
面積	94.39km ²
人口密度	120.6人/km ²



まつ の ちょう

松野町

体験できる滑床溪谷

この森に学びこの森に遊びて あめつちの心に近づかむ



「この森に学びこの森に遊びて あめつちの心に近づかむ」この子らに残したい大自然の恵み。



日本の滝百選「雪輪の滝」。滑床溪谷のシンボリック的存在。全長300mの一枚岩の上をさらさらと雪の輪を描くように渓流が流れ落ちる。



日本の滝百選「雪輪の滝」は天然の滑り台になる。最近日本有数のキャニオニングのポイントとして注目の滑床溪谷。



伊予と土佐の交易の要衝として栄えた面影を残す旧松丸街道。森の国ぼっぼ温泉は、この街道に位置するJR松丸駅にある温泉。



毎年8月13日に開催される森の国の夏まつり。温泉に入りながら見る花火大会は絶景。



JR予土線を走るオーブンエアーのトロツコ列車は旅情をかきたてる。

日本最後の清流「四万十川」。この溶溶たる流れの最初の一滴が始まる場所のひとつに「滑床溪谷」があります。美しい渓谷美、豊かな森林美、時間を忘れるほどの展望美が評され「国立公園」にも指定されている。滑床溪谷は、遊びと学びの宝庫。四季折々の美しさが楽しめる溪谷散策をはじめ、アカシヨウビンやカワセミなどの100種類以上の鳥たちのパードウオッチング、アメゴの渓流釣り、溪谷をまさに体験できる滝すべりやキャニオニング、木登りやキャンプなど、自分なりの滑床溪谷を存分に楽しんでください。

【問い合わせ先】
松野町役場 TEL0895-42-1111



滑床溪谷にある「森の国ホテル」。赤い大屋根と白い漆喰の壁が周囲の緑と絶妙のコントラストを見せる。上質なおもてなしと料理が評判のホテル。



JR松丸駅下車。ホームの階段を上がって森野君ぼっぼ温泉の足湯コーナーでしばし休憩。列車の待ち時間にぜひご利用してください。



清酒「伊予美人」の仕込み樽を利用した「森の国ぼっぼ温泉」の露天風呂。このお風呂に入ると美人になれる。

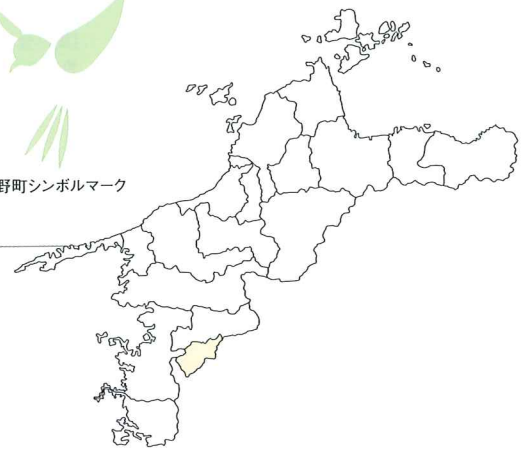
【問い合わせ先】
松野町役場 TEL0895-42-1111

予土線で旅しよう！ 「松丸駅」で途中下車。 駅にある温泉に ちよつと寄り道。

ガタゴトと揺れが心地よいJR予土線の旅。木々を分け入り、右に左にカーブしながら走る汽車には、田園風景の広がる窓から心地よい風の詩が聴こえる。
走ること暫し、松丸駅には「森の国ポツポツ温泉」があり、町内の造り酒屋の大きな酒樽を使った露天風呂や滑床溪谷をイメージした岩風呂、無料の足湯などが楽しめる癒しのスポットとなっている。ちなみに、この露天風呂の酒樽で作られていた酒の銘柄は「伊予美人」。癒しと美貌を手に入れる効能がある温泉かも。



松野町シンボルマーク



愛媛県・松野町

DATA

総人口	4,459人
世帯数	1,988世帯
面積	98.50km ²
人口密度	45.27人/km ²



鬼北町

き ぼく ちょう

「でちこんか」秋の陣！
人口1万人の町に3万人が訪れる祭典



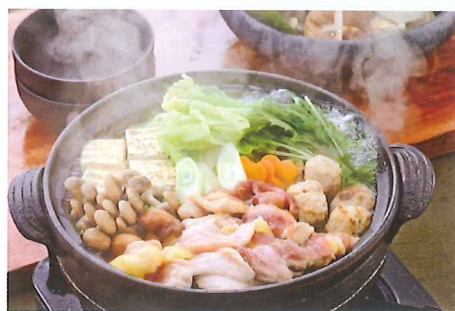
2日間にわたって開催される鬼北町最大のイベント「でちこんか」。1日目の前夜祭は「炎の祭典・邦楽ライブ in きぼく」と題して、鬼北町の「太鼓集団 魁」をはじめ全国から邦楽団体が集まり熱いライブを展開。歌や演奏に魅了されること間違いなし！
2日目は県内外から約90の団体等が軒を並べて特産品などの物産販売を行う「びつくり市」や、あゆ・マスのつかみ取り、約2,500食分のきじ鍋を提供するジャンボきじ鍋、ステージライブなど多くの催しを展開する。



前夜祭、当日ともに多くの家族連れなどでぎわう。用意されたきじ鍋は即完売する人気ぶり。あゆ、マスのつかみどりも子どもから大人までが楽しめる。



【問い合わせ先】
鬼北町 生涯教育課 産業課
TEL0895-45-1111



和食にもフランス料理にも使える食材として、全国のホテルや飲食店に直接販売している。

古の味を食卓へ

鬼北町のきじ肉は「熟成」「急速冷凍」「長期保存」が美味しさの秘密！

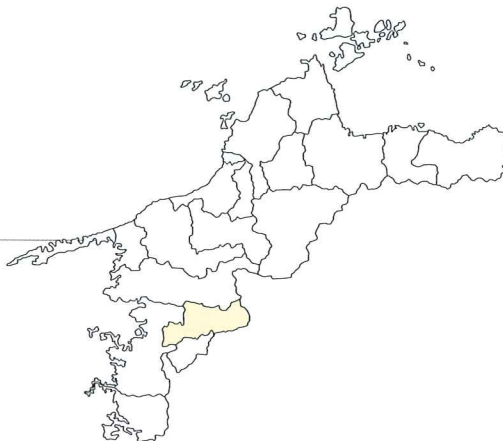
鬼北町では、平成4年度からきじの飼育を開始して、地域振興の柱となる特産品として加工販売を行っている。

きじは、さばいた後2日間「熟成」させてうま味成分を高め、その成分を「液体急速凍結」で閉じ込めるといふ製法なので、いつでも旬の味覚を味わえる。また、凍結しているため「長期保存」が可能。安全・安心、良品質として愛媛県のブランド産品の認定も受けている。ぜひ、ご賞味ください。

【問い合わせ先】
鬼北きじ工房 TEL0895-48-0771

DATA

総人口 11,755人
世帯数 5,174世帯
面積 241.87km²
人口密度 48.59人/km²



あいなんちよう

愛南町

愛媛県最南端の町 豊かな自然と文化が育む 季節の幸と温かい人情



リアス式海岸の豊かな内海・御荘湾は、僧都川をはじめ5つの川から山の栄養分が流れ込み、餌となるプランクトンが豊富に生息している。穏やかな湾内では、タイヤスズキ、クエ、カキ、ヒオウギ貝、真珠貝などの養殖が盛んに行われている。



弘法大師空海によって開基されたと伝えられる四国八十八箇所霊場第40番札所の観自在寺には、日々多くのお遍路さんが訪れる。



穏やかな里山の田園風景は、いにしへの荘園時代の情景を感じさせる。

愛媛県の最南端に位置する愛南町は、リアス式海岸の豊かな内海と黒潮が還流する外海、そして穏やかな里山の自然に恵まれた別天地。古くは京都の青蓮院門跡の荘園「観自在寺荘」として発展し、今なお自然豊かな荘園の風情を残している。
四国の水揚げを誇るカツオをはじめ、ブリ・タイ・カキなどの海の幸と、日本一の生産量を誇る愛南ゴールド(河内晩柑)などの山の恵み。豊かな自然がもたらす上質な季節の幸と、お遍路さんへの「お接待」で培った温かい人情が町の自慢。

【問い合わせ先】
愛南町 TEL0895-72-1211



毎年11月開催のへんろ道を歩くイベント「トレッキング・ザ・空海あいなん」では、道中各所に小中学生や婦人会など地元住民による「お接待」が行われ好評を得ている。

【問い合わせ先】
内海公民館 TEL0895-85-1021



四国一のカツオの水揚げを誇る深浦漁港でしかあがない「愛南びやびやかつお」は、鮮度が高く身が引き締まり、もちもちした食感が味わえる幻のカツオ。

【問い合わせ先】
愛南町
水産課水産振興室
TEL0895-72-7305

愛南びやびやかつお タタキではなく刺身で 味わうのが愛南流！

「びやびや」とは、包丁が入らないほど新鮮な魚に使われる地元の浜言葉。鮮度を追求した究極のカツオが「愛南びやびやかつお」です。タタキではなく刺身で味わうのが愛南流。

へんろ道 今も息づく「お接待の心」

四国霊場四十番札所観自在寺を中心にもちを横断するへんろ道があり、へんろ道沿いでは、昔からお遍路さんに対して「お接待」が行われていた。現在でも案内板や休憩所・トイレなどお遍路さんが歩きやすいように整備している。



ぎよんぎょ普及戦隊愛南ぎょレンジャー

DATA

総人口 24,980人
世帯数 10,913世帯
面積 239.61km²
人口密度 104.25人/km²

